

西淀病院 初期研修プログラム



西淀病院

所在地：大阪市 西淀川区

病床数：218床

(一般110・回復期54・地域包括ケア54)

標榜科：内科 外科 産業医学科（職業病）
循環器科 整形外科 血液浄化室（人工透析）
消化器科 小児科 リハビリテーション科
呼吸器科 婦人科 放射線科
神経 泌尿器科 糖尿病

入院患者数

211/日('22)

外来患者数

52/日('22)

在宅管理件数(各診療所含む)

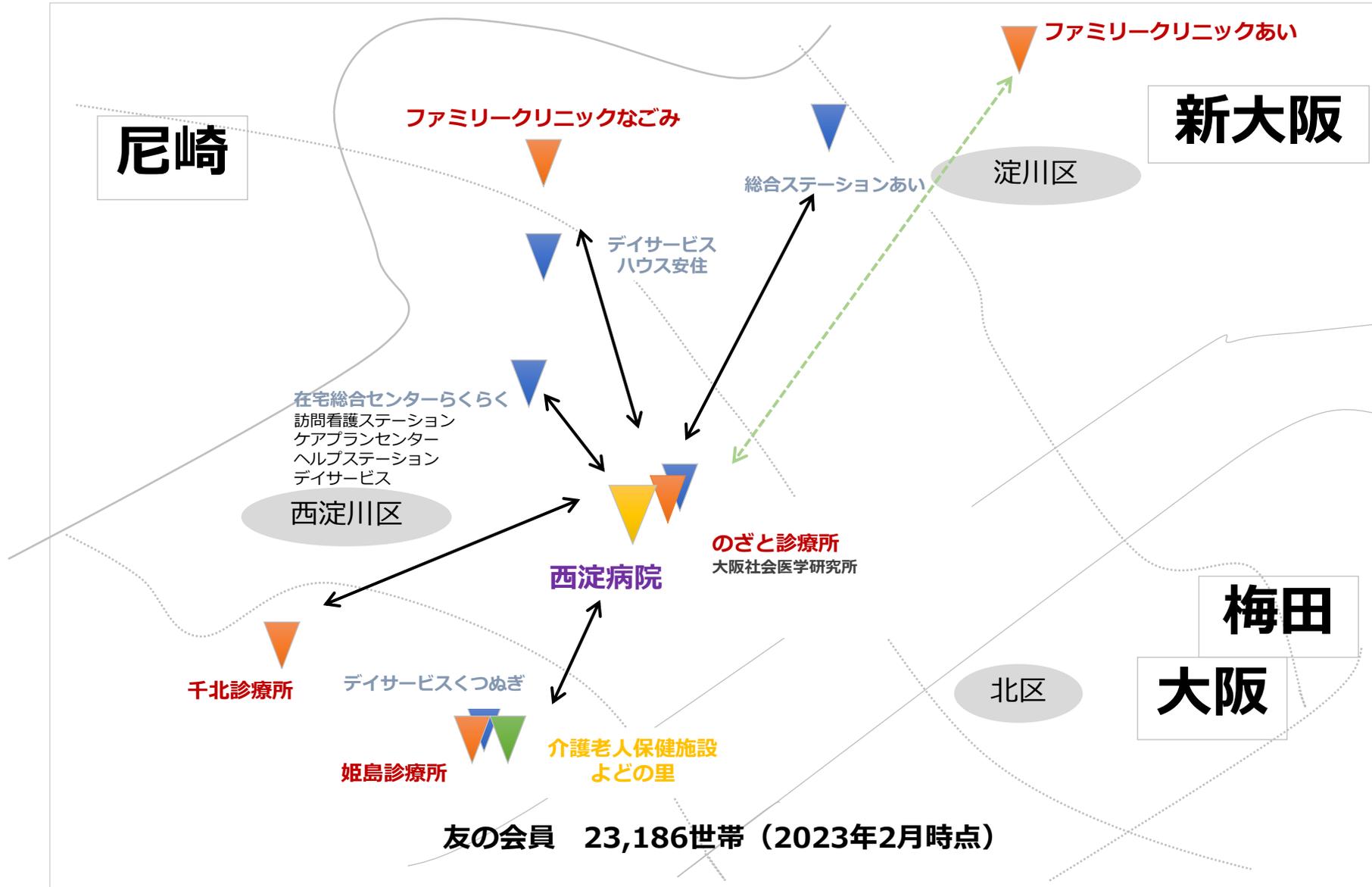
677.3/月('22)

救急搬送数

2838/年('22)



地域に根ざす医療展開



年間スケジュール（例）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目	内科			救急	内科		総診		小児科	産婦人科	麻酔	
	ホリ		当直									
	西淀						耳原					
2年目	外科		耳原 ER	選択	精神科		地域	救急	一般 外来	内科 (呼吸器・糖尿病・消化器)		
	当直											
	耳原				吉田		西淀					

- … 必修
- … 選択必修

主に西淀病院と耳原総合病院で研修を行います。

内科スタート

主治医力の基礎固め

プレゼンテーション、抗菌薬の使い方、様々な手技、入院から退院調整などあらゆる科で必要となる**基礎を最初の6ヶ月で固めます。**

	4	5	6	7	8	9
1年目		内科		救急		内科



内科スタート

症例数×考え方

学びは症例数ではなく、疑問の数に比例します。
ひたすらに症例数を受け持つと、業務はできるようになります
が、自分で考えたり医学知識を深めることが難しくなります。

当院では5人前後の入院患者を受け持ち、主治医として**1例1例**
丁寧に経験できます。

日々しっかりと問診・診察し、アセスメントを考え、コピペで
はないカルテ記載をし、分からないことを上級医に相談したり、
文献で勉強すると1度に受け持つ患者は5～10人程度が適切で
す。

内科スタート

Common diseaseに潜むUncommon disease

common diseaseはもちろん経験しますが、市中病院だからこそまだ診断のついていない勉強になる症例にも多く経験できます。

肺炎・尿路感染・心不全・脳梗塞などのcommon diseaseだけでなく、髄膜炎や膠原病なども経験します。

最初の半年で、初期研修の間に必要なレポートの症例がほぼ揃います。

担当症例（4月～9月実例）

年齢	性別	主病	合併症
73	F	緑膿菌肺炎	気管支拡張症、気管支喘息
74	M	腰椎圧迫骨折	骨粗鬆症、C型肝硬変
83	F	脳梗塞（脳塞栓）	肺炎、2型糖尿病
39	F	急性胃腸炎、下血	不眠症
62	F	腎盂腎炎	統合失調症
61	M	脱水、急性腎障害	意識障害
97	F	帯状疱疹	急性尿路感染症
85	F	偽痛風	認知症
80	F	横紋筋融解症	腎不全、C型慢性肝硬変
70	M	前立腺炎疑い	統合失調症
79	M	閉塞性換気障害	アルコール依存症
80	M	肺炎	SAS、PCI後
39	M	アルコール性肝硬変	DM、アルコール依存症
69	M	モラキセラ肺炎	慢性腸管癒着症
81	F	腎盂腎炎	アルツハイマー型認知症、DM
22	F	急性口蓋扁桃炎	
55	M	左放線冠ラクナ梗塞	HTN、高TG血症
61	M	結核性髄膜炎	Af
79	M	薬剤熱	肝嚢胞、全身性蕁麻疹
86	F	誤嚥性肺炎	薬剤性パーキンソニズム
88	F	腎盂腎炎、AMI	子宮外妊娠ope後、認知症
74	F	右下腿蜂窩織炎	DM、DL、HTN
46	M	多発通風性関節炎	HTN、HUA
71	F	両側腎盂腎炎	子宮筋腫
80	M	脱水症、腎前性AKI	認知症、陣旧性脳梗塞

年齢	性別	主病	合併症
39	M	胸腰椎圧迫骨折、骨粗鬆症	アルコール性肝不全
68	M	急性心不全	DM、HTN、OMI疑い
61	M	CPK高値、脱水	統合失調症、症候性てんかん
72	M	ACTH単独分泌不全	低Na血症、脊柱管狭窄症
77	M	頸部脊柱管狭窄症	腰部脊柱管狭窄症
88	F	肺炎	ACOS
87	F	両側下腿浮腫	バセドウ病
74	M	両側下腿浮腫	C型慢性肝硬変
55	M	高血圧	喘息、OSAS
26	M	下腿蜂窩織炎	てんかん
61	M	横紋筋融解	尿路感染症、貧血
56	M	大球性貧血	アルコール依存、縦隔腫瘍
76	M	出血性胃潰瘍	HP感染、腸骨嚢腫
79	M	正常圧水頭症	頸椎症、腰部脊柱管狭窄症、認知症
95	F	うっ血性心不全	認知症、神経因性膀胱
39	M	胸腰椎圧迫骨折、肝性脳症	アルコール性肝不全
80	M	失神発作	脳出血後、右片麻痺、失語症候性、てんかん
77	M	右下肢脱力	甲状腺機能低下、頸部脊柱管狭窄
26	M	髄膜炎（細菌性疑い）	
85	F	急性心不全	高血圧症、認知症
31	M	マイコプラズマ肺炎	気管支喘息
29	M	不明熱	
84	M	急性腎障害	前立腺肥大症、膀胱腫瘍
62	M	意識障害	パーキンソン症候群、てんかん、HTNなど
73	M	腸炎、敗決勝性ショック	頸髄損傷

指導体制

副指導医は研修医教育に特化した存在

副指導医は研修医の担当患者のみ受け持ちます。仕事の律速段階となりがちの”上級医へのコンサルト待ち”がなく、ストレスなく相談できます。

研修医に合わせた研修

研修医それぞれのペースに合わせて患者を受け持ちます。”エコーの練習がしたい””〇〇な患者さんを受け持ちたい”など希望に合わせたオーダーメイドな研修ができます。



救急外来研修

初期対応能力の習得

必ず指導医とペアで救急外来に入ります。

診察後には指導医による全例チェックがあります。

診察終了後に症例のふりかえりを行ない、さらに週1回のカンファレンスでプレゼンテーションと検討を行ないます。



週3回の新患カンファ

火・水・木 9:00～10:00

症例発表形式でプレゼンしながら、後期研修医・指導医とともに入院や救急外来で経験した症例を振り返ります。



豊富な手技と手厚いレクチャー

・豊富な手技

手技が発生すれば優先的に初期研修医に回ってきます。持ち患者以外でも手技は初期研修医に回し、腰椎穿刺・骨髄穿刺・動脈血採血など研修医に必要な手技は豊富に揃っています。



・手厚いレクチャー

CVCレクチャー・気管挿管レクチャーなど、少人数だからこそ指導医から手厚いレクチャーを受けられます。



地域医療 家庭医療

総合診療医的目線を養えます

家庭医・総合診療医が多く在籍し指導にも当たるため、初期研修から医学的な問題だけでなく、生活に目を向ける姿勢も養えます。

家屋調査（右写真）

研修中一度は退院にあたって、理学療法士・看護師と共に患者宅を見に行きます。



階段やベッドの高さなど、生活に問題が無いか。退院後に向けてどんなりハビリが必要か、確認します。

雰囲気の良い

病院全体で研修医を大切にする雰囲気

小さい病院だからこそあらゆる職種の方々との心理的距離感が近く、チーム医療を実践できます。

研修医の良さを引き出す雰囲気

何でも相談でき、快く教えてくださる雰囲気が根付いています。

人格が否定されるようなことももちろんありません。

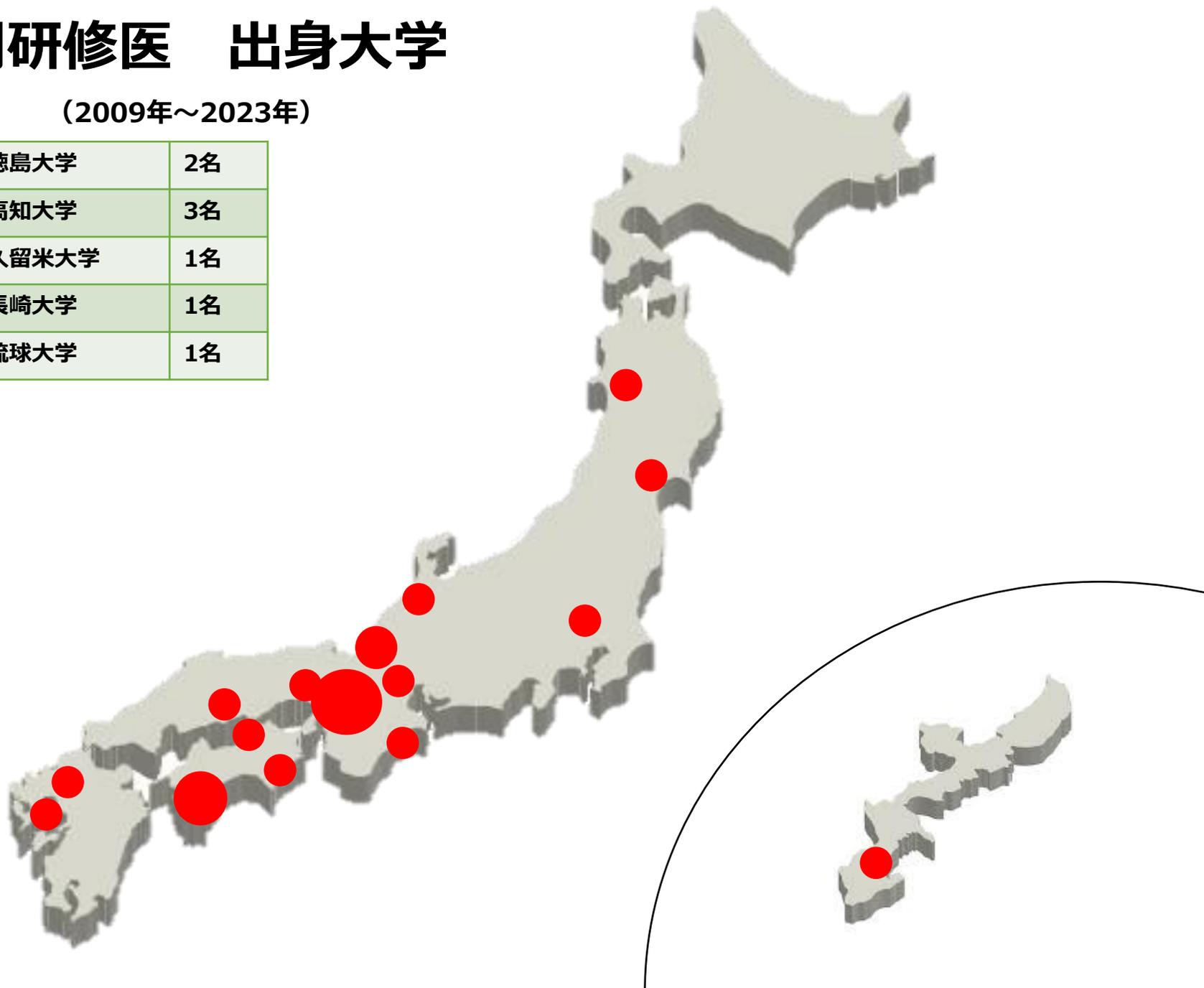
研修医であっても1人の医師として尊重されます。（2年目研修医より）



西淀病院初期研修医 出身大学

(2009年～2023年)

秋田大学	1名	徳島大学	2名
埼玉医大	1名	高知大学	3名
東北医科薬科大学	1名	久留米大学	1名
金沢大学	1名	長崎大学	1名
福井大学	3名	琉球大学	1名
三重大学	2名		
滋賀医科大学	2名		
奈良医科大学	1名		
関西医科大学	1名		
大阪医科薬科大学	2名		
近畿大学	3名		
神戸大学	1名		
岡山大学	1名		
島根大学	1名		
香川大学	1名		



アクセス

- 大阪駅の隣の駅の塚本駅(JR神戸線)から徒歩13分
- 御幣島駅(JR東西線)から徒歩6分
- 最寄駅から三ノ宮まで30分



梅田・三宮まで気軽に行ける好立地

働きやすい職場

オンオフがしっかり

休日の呼び出しも無く、休日に受け持ち患者を見るべきという圧力もありません。

仕事後には勉強をする時間も確保できます。

日本一、女性が働きやすい病院を目指して

女性医師も多く在籍しています。（約3割）



出産・育児のサポートもしっかりと

「育児支援制度」で時差出勤や時短勤務を活用し、病院や診療所で働く医師もいます。研修医時の出産や育児もしっかりサポート。もちろん女医だけでなく、男性医師も子育て頑張っています。



医学生向けイベント

・半日セミナー

学生は病棟患者さんの一日主治医となり、実際に病棟の患者さんに問診や身体診察を行ってまいります。その情報を元に**医師・薬剤師・看護師・リハスタッフ・医療福祉相談員**と共に多職種合同カンファレンスを行い、患者さんの治療方針や退院に向けての話し合いを行います。

当院で実際に行っているカンファレンスを体験してもらええる企画です。

・病院見学もいつでも受け入れしています。



給料・福利厚生

給与 1年目 409,000円/月 2年目 429,000円/月

(住宅手当、研修調整手当、時間外調整手当含む)

※家族手当、通勤手当、当直手当など別途支給

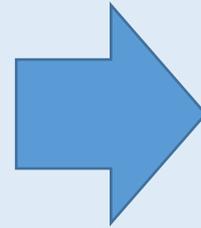
賞与 1年目 749,871円/年 2年目 1,089,670円/年 (2022年実績)

当直手当 1年目 10,000円 2年目 18,000円

住宅手当 12000円/月

休暇 有給休暇、4週6休、季節休暇11日、年末年始休暇、生理関連休暇など

西淀病院から耳原総合病院へ



- ER1ヶ月、総合診療科2ヶ月、外科2ヶ月、小児科1.5ヶ月、産婦人科1.5ヶ月、麻酔科1ヶ月は耳原総合病院で研修します。
- 複数の病院で研修することで、それぞれの良い所・悪い所が見え、視野を広く保つことができます。

耳原総合病院

所在地：大阪府 堺市
病床数：386床
医師数：78人（初期研修医除く）



新病院



標榜科

救急科、総合診療科、循環器内科、消化器内科
糖尿病・膠原病・内分泌内科、腎臓内科、小児科
外科、産婦人科、整形外科、麻酔科、泌尿器科
胸部心臓血管外科、呼吸器外科、緩和ケア、放射線科
リハビリテーション科、病理診断科、脳神経外科
呼吸器内科、精神科、眼科、歯科口腔外科
皮膚科（入院中の患者様のみ対応）、

耳原の救急外来 日勤帯

- 時期にもよりますが、1年目1~2人、2年目1~2人、後期研修医1人、スタッフ医1人の5人ほどで救急車とwalk inを見ています。
- 耳原総合病院は救急搬送約6000台/年。ER型救急(断らない救急)をしておりファーストタッチは初期研修医がします。救急外来をこなす力は2年間でかなり身につきます。
- 1日4~8人ほど診ます。同時に複数人診ることもあります。
- 受診患者数は「やや多め」ですが、救急外来を主に研修医が回しているので、研修医の経験症例数としては「かなり多い方」だと思います。

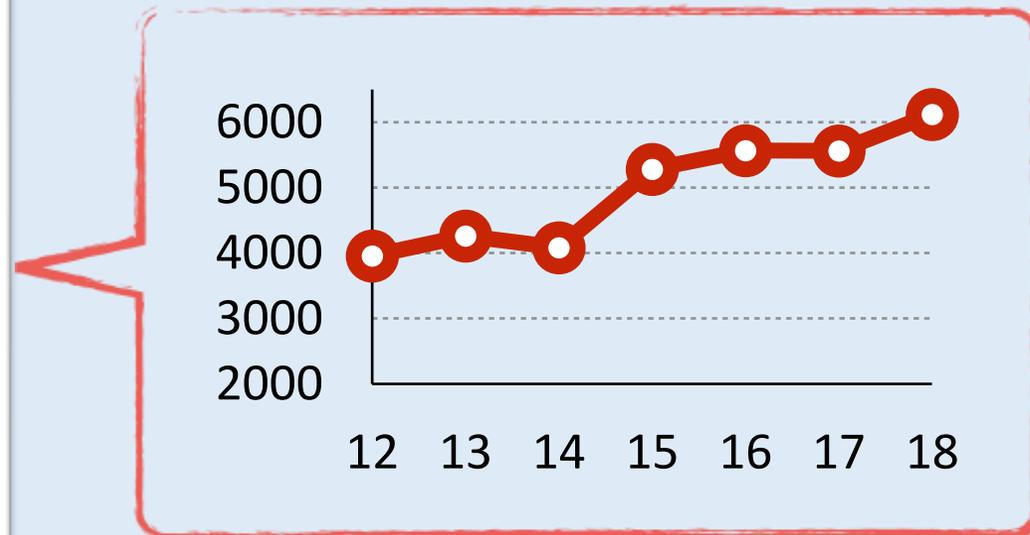
豊富な救急症例数

2年間で経験できる救急症例は1000例以上可能(研修医一人当たり)
一人で救急初期診断・治療できる技術が身に付く。

ER



救急搬送 約6000台超！



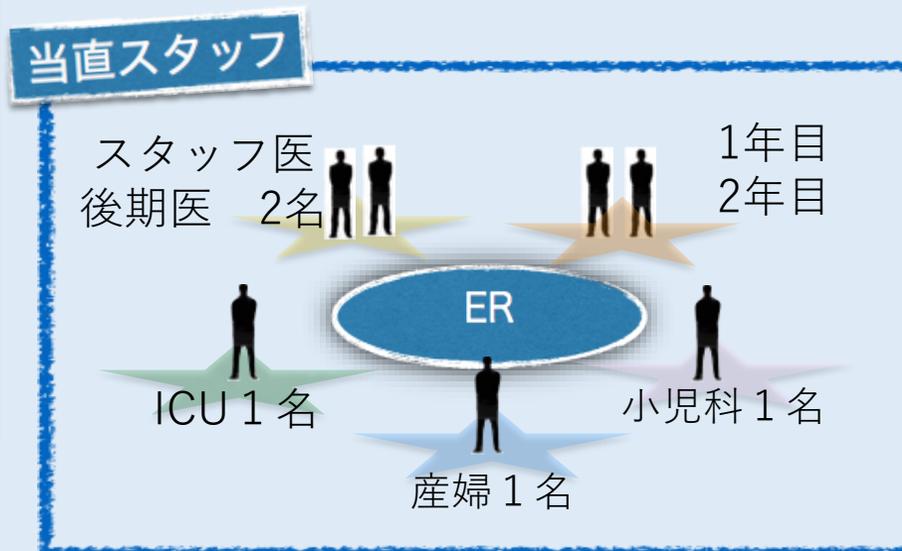
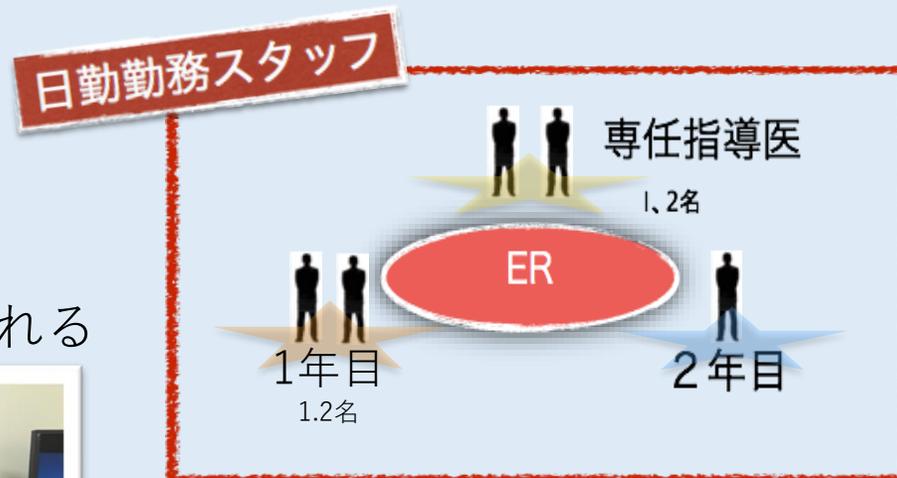
耳原総合病院初期研修 重点ポイント

万全の救急指導体制

研修医一人で診療させず、常にそばにいる上級医すぐコンサルトでき、その場でフィードバックが受けられる



研修医をひとりにしない研修



耳原総合病院初期研修 重点ポイント

当直

- 当直も日勤帯と同じく、初期研修医がファーストタッチで救急外来を回します。
- 当直明けの朝には経験した症例を振り返ります。1年目は全例・2年目は気になった症例を振り返り学びを深めます



当院の4段階評価システム

段階		見習いA	見習いB	見習いC	見習いD	
おおよその時期		1年目春～	6月頃～	1年目秋・冬～	2年目秋～	
当直	勤務内容	ERのみ	ER+病棟			
	指導医の役割	問診診察で全例チェック	スタッフはERに常駐・全例帰宅前にチェック必要		指導医はERを離れることあり→必要時コンサルト	
	ER	コンサルトのタイミングと判断	問診診察を終えた時点で全例コンサルト	帰宅・入院の決定は自分ではない	軽症に関して：帰宅・入院の判断可	
	病棟	コールへの対応		研修医・指導医同時コール	研修医Firstコール	
				指導医と共に病棟診察	まず研修医が自分で対応	基本的に研修医が自分で対応
				診察後全例コンサルト	必要時にコンサルト	
		急変コール		指導医とともに診察		
		研修医指導			検査に関してコンサルト受けてOK 帰宅・入院判断はダメ	軽症例のみ帰宅・入院の判断のためのコンサルトOK
	振り返り		全例振り返り			
日直	勤務内容			見習い日直 ER+病棟どちらも行おう	研修医枠に入る（スタッフ3人のうちの1人となる）	
	ER・病棟でのコンサルト		当直帯の上記に同じ			
	振り返り		全例振り返り		気になる症例について振り返り	

毎朝の病棟回診 と 週1回の教育回診



見るだけでなく、**1人1人**
全員が診察手技にトライ！



患者さんの協力を頂いて
みんなの**スキルアップ**

GP+1カンファレンス（毎週木曜日）

診療科の垣根を越えた
横断的な
カンファレンス



2/22	外科	中江Dr	発熱性好中球減少・血小板減少時の対応
3/1	呼吸器内科	緒方Dr	その時あなたは？！
3/8	代謝・膠原病内科	後藤Dr(研修医)	“大丈夫”って帰したらアカンで！
3/15	循環器内科	鈴鹿Dr	心不全？
3/22	堺山口病院	宮前Dr	高齢者の誤嚥性肺炎と嚥下内視鏡と漢方
3/29	集中治療科	鷺見Dr(後期研修医)	繰り返す失神
4/5	救急総合診療科	難波Dr(研修医)	失われた10年…

まとめ

- **西淀病院**

家庭医療に強い西淀病院で研修スタート
主治医力の基礎を固める
3人スタートのため手技が豊富
大阪駅近くの好立地＋好待遇

- **耳原総合病院**

断らないER型救急・総合診療科で有名な耳原総合病院
豊富な救急症例数で確かな当直力が身につく
同期8人とともに切磋琢磨

複数の病院で研修するため、それぞれの良いところを吸収
できます。